

コロナ禍でも杉並区を感じてほしい

エクレシア南伊豆の入居者にオンライン演奏会のプレゼント

3月14日、特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」に杉並区から入居している方々に向けて、日本フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏によるオンライン演奏会が開かれました。コロナ禍で直接の交流が困難であっても、杉並区で過ごした日々を思い出してもらおうと企画されたもので、会場の杉並区役所へご家族を招待し、オンライン中継を通して、演奏とご家族との交流を楽しんでいただきました。

全国初となる介護保険の圏域を越えた自治体間連携の特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」は、平成30年3月に交流自治体である南伊豆町に開設され、4年目を迎えました。現在、杉並区からは37名の方が入居しています。

当初、杉並区から約200km離れていることについて、入居者やご家族等から心配する声がありました。そのため、離れていてもできるだけその距離を感じさせないよう、オンラインを通じてお互いの顔を見ながら会話ができる環境を整えたほか、入居者が杉並で住んでいた時と同様の楽しみを味わっていただけるよう、高円寺阿波おどりの演舞など、区内イベントを体感できる取り組みを実施してきました。



コロナ禍であっても、このようなイベントを楽しみにされている入居者とご家族のために、区民に馴染み深い日本フィルハーモニー交響楽団によるオンライン演奏会が企画されました。会場である杉並区役所にご家族を招待し、エクレシア南伊豆とのオンライン中継により、演奏とご家族との交流を楽しんでいただきました。

日本フィルハーモニー交響楽団と杉並区は、同楽団が杉並区を活動拠点としてきたことから、音楽を通じた区民の豊かな交流と地域文化の振興に向けて、平成6年7月に相互協力に関する覚書（友好提携）を交わしました。それ以来、区内の施設での出張コンサートや杉並公会堂での公開リハーサルなど、区に密着したさまざまな音楽活動を実施しています。

14日午前10時30分から、演奏会場の杉並区役所とエクレシア南伊豆をオンラインで生中継し、日本フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏の演奏が始まりました。クラシックの定番「アイネクライネナハトムジーク」のほか、「川の流れるように」「花は咲く」など合計7曲を披露しました。杉並区役所で演奏を聞いたご家族は、「コロナの影響で、なかなか南伊豆にいる母と直接会うことはできませんが、オンラインというかたちで日本フィルの素敵な演奏を一緒に聴けて、楽しい時間を過ごすことができました。」と嬉しそうに話していました。

【問い合わせ先】

高齢者施設整備担当：03-3312-2111（内線1161）

総務部広報課：03-3312-2111（代表）